

□ 第1回 ごみ処理施設等使用料見直し検討委員会 会議録 要旨

I 日 時 令和元年10月7日(月) 14:00～15:30

II 場 所 リサイクルセンター エコリア北薩

III 次 第

【委嘱式】

- 1 委嘱状交付
- 2 北薩広域行政事務組合挨拶

【委員会】

- 1 開会
- 2 委員紹介
- 3 委員会設置要綱の確認
- 4 委員長及び副委員長の選出
- 5 検討委員会の運営に関する申し合わせ事項の確認
- 6 報告
 - (1) 前回(H27)の施設使用料見直し内容
 - (2) ごみ搬入実績について
 - (3) 構成自治体のごみの現状について
- 7 審議
 - (1) 委員会での検討内容とスケジュール
 - (2) 施設使用料に関する基本的な考え方の検討
 - (3) その他
- 8 閉会

IV 議事録(要旨)

- 1) 開会
- 2) 委員紹介
【事務局より、委員及び事務局職員の紹介を行った。】
- 3) 委員会設置要綱の確認
【事務局より、検討委員会設置要綱を読み上げた。】
- 4) 委員長及び副委員長の選出
【委員の互選により、委員長に三反田委員が、副委員長に寺下委員が選出された。】
- 5) 検討委員会の運営に関する申し合せ事項
【事務局より検討委員会の運営に関する申し合せ事項(案)を説明した。】

委員長：事務局から説明を頂いて、その後、皆様から質問、意見をお聞きする形で進めたいと思います。何かありませんか。

委員：「なし」の声あり。

委員長：それでは、このような形でお願いします。

6) 報告

【事務局より(1) 前回 (H27) の施設使用料見直し内容 (2)ごみ搬入実績について (3) 構成自治体のごみの現状について一括して説明をした。】

委員：9ページの伊県内における周辺自治体の処理費用等についての表で、事業系施設使用料(円/トン)及び生活系施設使用料(円/トン)他の自治体は、同じトン当たりの金額であるが、本組合でみると、平成26年度が1,530円で平成29年度が3,240円に倍増になった理由を教えてください。

事務局：5ページの当組合の施設使用料改定の経緯より、前回(H27)の料金見直しにより、平成29年度から3,240円になりました。

委員：補足すると、組合としては暫く料金改定がありませんでした。周辺自治体と比較すると以前は、使用料金が低く設定されていたため、他所からのごみの持ち込みがあるのではないかと、という意見等があり、前回(H27)料金見直し検討委員会を立ち上げ、バランス等を考慮し、前回は施設使用料の引き上げとなりました。

7) 審議

(1) 委員会での検討内容とスケジュール

【事務局より、委員会での検討内容とスケジュールについて説明した。】

委員長：事務局からの内容とスケジュールでよろしいでしょうか。

委員：「異議なし」の声あり。

委員長：では、これでお願いしたいと思います。

(2) 施設使用料に関する基本的な考え方の検討

【事務局より、施設使用料に関する基本的な考え方について説明した。】

委員：事務局からの提案である、1 排出抑制や再生利用の促進、2 公平性の確保、周辺自治体とのバランスについては欠かせないもので、これに加えて、災害に備えるリスク対応を提案したいと考えます。昨今多くの災害が発生するのを鑑みて、災害時に必要なインフラであるごみ焼却施設において、電気、水、燃料が供給されない事態になった場合などの備え、災害時の安定的な稼働について考える必要があるのではないかと思います。

委員長：想定される範囲内では、ある程度の災害に対する対応も考える必要があるのではないかと思います。

委員：緊急時には多くの廃棄物が予想されますが、他の市町等の連携も含めて現時点での対応策があるのであれば、教えてください。

事務局：平成18年の出水の災害等があり、新焼却施設において、災害廃棄物置場を確保してあります。また、新焼却施設ではごみ発電を行うので、施設の電気は、発電で賄うの

とができるので、ある程度の災害に対応ができると思います。災害時の他市町との協定は、結んではいませんが、過去において、水俣、湧水町、指宿における災害ごみを、当組合において受入れ処理した実績があり、今後、当組合で災害があった場合、周辺市町とも連絡を取りながら対応する必要があると思います。

委員：リスク対応については、施設を造る時、施設を運営に関して行う時に、議論することではないかと思います。料金等の見直しの中で、リスク対応は非常に大切なところであることは十分承知していますが、料金を見直しを少し協議しなければならないのではないかと思います、今回の料金見直しの委員会においてリスク対応を入れることが妥当であるのかと思いました。

委員：決めるのではなく、提案ということでの発言でした。リスク対応は、お金がかかります。平常時は、想定外の事態に対して、説得力がないが、インフラを造る時には、リスク対応を考慮する良いタイミングではないかと考え、提案しました。

委員：処理原価割合は、人件費であり、物品的な経費であると思いますが、減価償却も全て含んでいるのですか。

事務局：一年間の施設に係る経費で建設に係った部分は含まれていません。

委員長：それでは、施設使用料の見直しの基本的な考え方にある、排出抑制や再生利用の促進、公平性の確保、周辺自治体とのバランスを基本として考え、リスク対応についての意見も含まるのであれば、料金あるいは、その他のところで反映してもらえればと考えます。以上でこの件は終わります。

(3) その他

【事務局より、次回、第2回目の日程について、開始前の各委員の日程調整の結果から、11月11日（月）になる旨を説明した。】

委員長：では、次回は11月11日（月）の14時から同じくリサイクルセンターでの開催ということでしょうか。

委員：「はい。」との声あり。

委員長：ではそのようなことでお願いします。

8) 閉会

【事務局より、次回は、使用料改正の必要性、改定額や料金体制の検討であることと、次回の資料を各委員に配布し、終了した。】